HOLON

ご家族の
みなさんで
ご覧ください!

CND機関紙 ホロン
vol.155
2016年9月14日発行

02 CND Action!!
第15期スタート!
第15回定期大会開催報告

04 HOLON特集1
第15期を迎えるにあたり
CND中央執行委員長×事務局長
特別対談

06 新企画 毎号連載
キティこうぞう先生に聞く
ストレスと上手に付き合う生活術

07 HOLON特集2
CND第15期本部役員紹介

08 浜口誠参議院議員当選報告
着ぼいす
HOLONクイズ

Challenge for
New
Development

CND Action!

第15期スタート！

将来にわたり「お客さまや地域から信頼され選ばれる企業」としていくために

中央執行委員長
鎌仲 一樹

8月23日（火）～24日（水）、名古屋においてCND第15回定期大会を開催し、全国加盟組合より代議員・傍聴者が参集しました。大会では、第15期運動方針（案）および16秋の取り組み方針（案）などの議案について審議を行い、すべての議案が可決されました。この方針を受け、加盟組合においても運動方針が策定されるとともに、具体的な取り組みがスタートします。

参議院議員選挙の取り組みについて

7月10日に参議院議員選挙が行われました。自動車総連は昨年の中央委員会において、第24回参議院議員選挙の組織内候補として浜口誠さんを推薦決定しました。それから1年半の間、浜口さんは全国を駆け巡り、多くの仲間と面談されてきました。その影にはCNDの仲間の多くの支えがあったことは言うまでもありません。

浜口さんは14年前、当時のCND中央執行委員会にも、全トヨタ労連の副事務局長という立場で、参加したこともあります。私個人としても大変長いお付き合いをさせていただいております。

今回、参議院議員選挙の比例区において、これまでのCNDの皆さんの努力の結果、浜口誠候補を国政の場に送り出すことができました。皆さんのさまざまな活動に対して、心からお礼を申し上げたいと思います。重ねて全トヨタ労連の地協議長の皆さまにも感謝申し上げます。

第14期を振り返って

第14期は、〝魅力ある販売業界づくり〟への集大成という思いを込めて、「社員一人ひとりが販売会社への誇りと愛着を持ち続けるために」というスローガンを掲げ、2年間活動を展開してきました。トヨタグループで働き、トヨタの車を販売し、お客さまと接する最先端で働く私たちが、お客さまの厳しい意見をメーカーに伝え、トヨタの品質を高めてきたことは確かなことであります。そういった意味では、車を通じて、お客さまのライフステージや企業の発展に貢献してきた私たちの仕事に、もっとプライドや自信を持ち、自らの生活を育んでくれた企業に対し、もっと愛着を持ち続けることが、私たち販売業界が魅力ある企業になっていく、そうした思いを込めたスローガンでありました。

近年加速している労働力人口の減少については、私たち販売会社に大きな影響を及ぼしております。人材の確保が厳しい、これは全国どの地域においても、共通の課題だと思います。私たちCNDにおいても、もっと強い気持ちで、経営と議論していかなければならないと考えます。人材採用については、これまでの固定概念を刷新するような視点を持った考え方をしていかなければ、企業の発展には結びつかないと考えています。

第15期に向けて

第15期は1期1年となります。第14期の課題解決と、第16期への橋渡しをする期と考えています。第14期に掲げたスローガンを引き継ぐといった意味も込めて、第15期では、「～将来にわたり『お客さまや地域から信頼され選ばれる企業』としていくために～」をスローガンにしました。詳しい思いは議案書にも記載しておりますが、ひとつ確かなことは、全国にあるトヨタ販社は、地域の雇用を創出しているということであります。地域、企業を発展させるため、地域から信頼される企業となり、今後も地域の雇用を創出していかなければならないと思います。それが私たちトヨタ販社の役割でもあり使命でもあると考えます。第16期はCND結成30周年を迎えます。今から28年前にCNDが結成された意義を、加盟組合の組合員全員が理解するとともに、2年後に迎える結成30周年に向けて、いま一度CNDが一体となり、成長していく、そのような第15期にしたいと考えます。

第15回定期大会を開催

司会

トヨタ部品愛知共販労組
橘委員長

議長団

釧路トヨタ労組
村田委員長

福井トヨタ自動車労組
鈴木委員長

選挙管理委員長

トヨタカローラ埼玉労働組合
四十万委員長

新たに就任した
CND小川新中央執行委員長

来賓挨拶

全トヨタ労連会長
佐々木龍也 氏

前参議院議員
直嶋正行 氏

衆議院議員
古本伸一郎 氏

参議院議員
磯﨑哲史 氏

参議院議員
浜口誠 氏

質問者

札幌トヨタ自動車労組
貝沼代議員

ネッツトヨタ道都労組
佐藤代議員

トヨタエルアンドエフ札幌労組
松澤代議員

京都トヨペット労組
浦代議員

ネッツトヨタ京華労組
古川代議員

トヨタカローラ兵庫労組
金丸代議員

トヨタグループ宮崎労組
江並代議員

16秋の取り組み

第15回定期大会において「16秋の取り組み方針」が可決されました。
今後、各加盟組合は方針に沿った秋の取り組みを進めていきます。
今回は、16秋の取り組みについて紹介していきます。

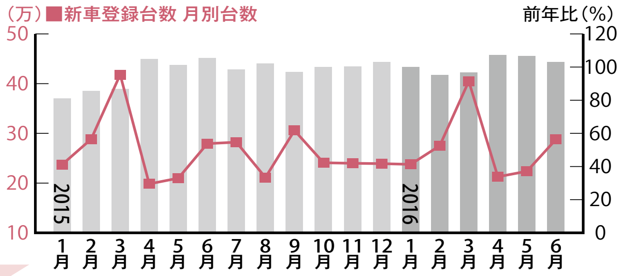
私たちのとりまく環境

国内の労働環境

国内の労働環境については、少子高齢化の急激な進行により、労働力不足が深刻化してきています。さらに、少子高齢化の影響は、将来の経済規模の縮小や生活水準の低下にもつながる恐れがあるとされています。

自動車産業の動向

2016年1-6月の登録車と軽自動車を合わせた新車総台数は254.7万台で、前年同期比95.2%となった。また、新車の登録台数は、2016年1-6月は前年同期比0.7%増の164.1万台となった。



このような状況を乗り越えるために

ワーク・ライフ・バランスの実現による魅力ある販売業界づくりに向けて

企業が永続的に発展するためには、ワーク・ライフ・バランスの実現が必要と考えます。そのためにも、年間所定休日をはじめとした労働条件の改善をはかり「人に選ばれる企業」になるとともに、年齢や性別にかかわらず、すべての働く人がいきいきと活躍できる職場環境を構築することが必要です。

メリハリのある働き方の実践に向けて

効果・効率的な働き方に向けた取り組み、労働時間に関する課題解決に向けた取り組みを進めていくことで、ワーク・ライフ・バランスの実現を目指します。また、働く一人ひとりが、時間を意識することにより効果・効率的な働き方につなげ、生産性の向上を図り、「年間所定休日120日」に向けた職場の体制づくりに取り組んでいきます。

すべての働く人がいきいきと活躍できる職場風土の醸成に向けて

育児や介護にかかわる両立支援の充実や職種ごとの魅力向上に向けた取り組みなど、すべての働く人がいきいきと活躍できる職場風土の醸成に向けて取り組みを進めていきます。

「労働条件の改善に向けて」

「CND You-Meプラン（魅力ある販売業界づくりに向けて、CNDが定めた16項目の労働条件向上プラン）」に基づき、労働条件の改善に取り組むことで、販売業界の魅力向上を目指します。また、すべての働く人が活躍し続けていくことができる職場環境の改善に向けて取り組んでいきます。

CND特別対談

CNDの第15期が、新たなメンバーのもと、スタートを切りました。
そこで今回の「HOLON特集」では、小川委員長と菅野事務局長のお二人に、トヨタ販社が目指すべき姿や、
CND結成30周年に向けて取り組むべきことについて、語っていただきました。

菅野朋之 事務局長

小川敬太 中央執行委員長

―第15期を迎えるにあたり、今、トヨタ販社をとりまく環境や課題はどんなところにあるのか？ お二人の考えをお聞かせください。

小川委員長（以下「委」）：トヨタ販社をとりまく環境を振り返ると、リーマンショック以降、かなり落ち込んだ時期もありましたが、組合員の頑張りや、経営のバリューチェーンや基盤強化へ取り組んだ結果、収益を確保できる体制になってきました。

また、自動車市場が縮小していくなかで、何とかトヨタは製販が一体となることで国内150万台を維持できたと思います。

ただ、この状態が続いていくとは思っていませんし、これからは製販一体はもちろんのこと、販売は販売で、より一層力をつけながら、取り組んでいかなければならないと考えます。そういった強い意志を持つことが、今は大切だと考えます。

菅野事務局長（以下「事」）：直近では、全国的に収益を上げていることは間違いありませんが、目先を10年、20年先に変えてみると、少子高齢化にともなって、自動車の保有台数がどれだけ減少していくのか？また、今後電気自動車が普及した場合、自動車を構成する部品点数が少なくなり、サービスの収益が相当縮小していく可能性もあるのではないか？と感じています。そのため、直近だけではなく、中長期的に販売店としての課題を考え、この数年で真剣に議論する必要があると感じています。

―先を見据えると少子高齢化により、若い優秀な人材の採用や、また人材の定着といった面で、人材不足が懸念されます。

委：CNDでは、ここ数年、鎌仲前委員長を中心に、トヨタ販社で働く人たちが、自分の会社に誇りと愛着が持てるように、“魅力ある販売業界づくり”をテーマに掲げ取り組み、販売店のイメージはかなり改善されてきたと思います。しかし、いまだに夜が遅い、ノルマが厳しいといったイメージが、とくに今後就職を迎える世代のご両親に根強く残っているのではないかと感じています。そういったなかで、“魅力ある販売業界づくり”を実現するためには、いま働いている皆さんに、トヨタ販売店は良いぞ！と感じていただき、自分たちの後輩に入社してもらいたいと思える企業にしていくことが、一つの鍵だと考えます。

事：人材不足の面に関しては、都市部と地方によって抱えている問題が大きく異なってくると思います。地方では絶対的な人数が揃わないという話を聞きますし、都市部であれば、競合他社が多く、人材の確保が非常に大変だと聞いています。また、バブル期の店舗数をそのまま維持している販売店も多く、今後市場が縮小していったときに、必ず店舗の統廃合といったことが必要となってきます。その時に、より適正に、どうやって人員を再分配していくのかが、今後必要な課題になってくると思います。そういった課題も含めて、人材不足を解消していくように進めていかないといけないですね。

委：そうですね。市場に合わせた適正人員というのを、労使で話し合わなくてはいけない時代が近くなってきていると思います。

人材不足を解消するために、女性や中高齢者の方たちなど、多種多様な人材が活躍できる環境を作ることをテーマにし、取り組んでいく必要があると、本当に感じています。

―女性が働きやすい職場にしていくには、今後どんなことが課題となってきますか？

事：自動車販売会社は、長い間男性社会で形成されてきたこともあり、まだまだ男性目線での働き方や環境になっていると思います。会社と組合が一体となって、女性にどう活躍していただくかということを真剣に考えていかないと、なかなか改善されていかないのでは、と感じています。ただ、いろんな販社を見てきていますが、昔と比べると女性の働き方に、随分と力を入れ始めているところもでてきました。女性の働き方と、自動車販売業が融合してくれば、より一層働きやすくなると思います。

委：女性に活躍をしてもらうためには、私たち男性と同じような働き方、同じような評価をするといったことを、職場に浸透させていかなければなりません。そのために、管理職にしっかりと理解してもらうことも重要で、職場の風土を変えていく必要もあります。

そして、女性の意見にしっかりと耳を傾けて、何に困っているのか？など、組合員の声をしっかりと聞くといった本来の組合活動をやっていく必要があると考えています。

―組合員は組合活動に対して理解をしてくれていると考えますか？ また、そこに対してどんな課題があると思いますか？

委：私たちが一番苦労するのは、春と秋の取り組み時の交渉なのですが、要求する際に、組合員の意見を踏まえた要求となっているのか、経営も意識して質問してきます。そのため、組織活動を行って、組合員の総意として要求すると、組合の自信にも繋がり、組合員の信頼も得られると思います。

最近、組合離れと言われていますが、組合員は組合が活動している内容をしっかりと見ています。組合がどう活動し、交渉しているのか？そういったところを組合員は見ているという意識で、取り組んでいかなければなりません。

事：くわえて、CNDでは数年来、BTS活動という、職場の声を聞くための活動を続けてきています。加盟組合で活動に差はあるものの、そうした仕掛けづくりを展開しています。こういった組合員の声を聞くための活動を継続して、今後も取り組んでいくことが大切ですね。

委：CND加盟組合の多くは、仕事を掛け持ちしながら組合活動をしているため、組合員の意見を聞く時間をなかなか作れないなかで、何とかやっているというのが現状です。そうしたなか、会社に組合活動を、どうやって認めてもらうかが大事だと考えます。

組合活動を会社に認めてもらい、存在感を出さなければ、組合員に組合の必要性を理解してもらえない。加盟組合には常にそういう意識が必要ですし、そのためのサポートをCNDはしていきたいと考えています。

―会社に組合を認めさせるというのは、難しいものですか？

事：経営は現場で起こっていることを、悪いことも含めて知りたいはずです。しかし、会社内では、基本的に良い話しか報告されないのではないかと考えます。現場で本当に起こっていることをしっかりと私たちが伝えていく。そうすることで、会社は組合への理解を示してくれるのではないかと思います。

そのため、組合という立場で、どこまで経営とのコミュニケーションをしっかり図っていけるかが非常に大事です。

それと、組合の執行部も、泥臭い言い方かもしれませんが、熱量や思いが必要だと思います。

自分の経験値ですが、やはりそうした熱量や思いは、しっかりと経営に届くはずです。経営と意見が異なっても、熱量や思いさえあれば、ある程度経営も理解を示してくれると感じています。

―CND結成30周年に向けての考えを聞かせて下さい。

委：方針にも掲げましたが、第15期は、第14期の集大成であり、第16期へ繋げるための準備期間と位置づけています。新たなひとつの節目を迎えるためには、今しっかり準備しておくべきは何なのか？30周年だけではなく、先を見据えたとき、今何をすべきか？各加盟組合は何をするべきか？と、そういったことを考えなければなりません。第15期はそれに向けた準備期間と捉えています。

まずは、労働条件の改善や、「年間所定休日120日」に向けた取り組み、そして、生活水準の向上や個別賃金、絶対額への取り組みなど、“魅力ある販売業界づくり”に向けて取り組みを進めていくことが、新たな一歩になると捉えております。

今後私たちが存続していくためには、何が必要で何が足りないのか？そのなかで、変える必要があるものは変え、変えないものは変えない。そういった整理をしながら30周年に向けて取り組んでいきたいと考えています。

また、私たちはトヨタ自動車などのメーカーとは違い、各都道府県、または地域ごとに1社1社あるような企業体です。それぞれの地域に密接に関わることができるように、人材育成に力を入れていきたいと思います。

事：結成してからもうすぐ30周年、諸先輩方は、CNDらしさを大切に、この30年間取り組んできたと思います。CNDらしさというものは、時代が変わるにつれ、考え方も大きく変わっていくと思います。あらためてCNDらしさというものは何なのか？ということを、自問自答しながら30周年に向けて一生懸命取り組んでいきたいと考えています。

委：これからは経営との関係、市場の動きなど、まわりの環境や社会の変化よって変えなければならず、また、2018年以降は18歳以下の人口が減っていくことも、揺るぎないデータとして出ています。販売会社として、それぞれの地域の中で、何ができるのか？そのなかで守るべきものは何なのか？ということが大きなポイントになってきます。今は収益がいいですが、いつまでもいい状態は続いていかない。そういったリスクを認識しながら、私たちの方向性を見誤らないようにしていかないといけない。

いまできること、人材の確保と定着、育成をしっかりと、各加盟組合ができるように、進めていきたいと思います。

「年間所定休日120日」も、全加盟組合で実現するためには、さまざまなハードルがあるかもしれません。

しかし、それは私たちも企業を存続させたいという強い思いからなのです。先ほど事務局長も話したように、熱量や思い、そしてみんなで一体感を持って取り組んでいきたいと思います。

○プロフィール
1993年 4月～ 横浜トヨペット㈱入社（営業スタッフ）
2000年 8月～ 横浜トヨペット労働組合 評議委員
2004年 8月～ 横浜トヨペット労働組合 執行委員
2008年 8月～ 横浜トヨペット労働組合 副委員長（専従）
2010年 9月～ CND労働政策局部長
2012年 8月～ 横浜トヨペット労働組合 執行委員長（専従）
2012年 9月～ CND中央執行委員
2014年 9月～ CND南関東支部議長
2016年 9月～ CND事務局長 現在に至る

○座右の銘／語らなければ伝わらない。
伝わらなければ、変わらない
○好きな言葉／人情
○趣味／ゴルフ、御朱印集め

○プロフィール
1987年 4月～ 愛知トヨタ自動車㈱入社（サービスエンジニア）
1992年 8月～ 愛知トヨタ労働組合 専門部員
1994年 8月～ 愛知トヨタ労働組合 中央執行委員
2002年 8月～ 愛知トヨタ労働組合 中央執行副委員長（専従）
2004年 8月～ 愛知トヨタ労働組合 中央執行委員長（専従）
2004年 9月～ CND東海支部議長
2012年 9月～ CND副中央執行委員長
2016年 9月～ CND中央執行委員長 現在に至る

○座右の銘／温故知新
○好きな言葉／一期一会
○趣味／ゴルフ・映画鑑賞

今スグ！簡単!!
キティこうぞう先生に聞く

ストレスと上手に付き合う生活術

第1回

「笑い」で心身を健康にする

**体の免疫力を高め、同時にストレス耐性（メンタルタフネス）を高めるには、「笑う」という行動がとても大きな効果があります。
今回は「笑い」がいかに大切かを、実例を交えながら解説していきましょう。**

日本人の死亡原因の約30％はガンだそうで、年間に30万人以上の人が亡くなっています。ところで、ガンでなくなった人だけでなく、健康な人間でも毎日かなりのガン細胞が体内にできていることをご存じですか。ただ、健康な人の場合はナチュラルキラー細胞（※以下NK細胞）というガン細胞をやっつけてくれる細胞が働くので、ガンにはならずにすんでいるのだそうです。

このNK細胞をはじめ、人間が持っている「病原菌をやっつけてくれる力」は「免疫力」と呼ばれています。免疫は体にウイルスなどの外敵が入ってきたときに活躍するもので、その活性が弱いと病気になりやすいといわれています。

その免疫力を高めるものとして、いま脚光を浴びているのが「笑い」です。笑うと**NK細胞が活性化し、免疫力が高まります。**私はこの話を、岡山県倉敷市の医師で、心理学博士でもある伊丹仁朗先生の書籍で知りました。

伊丹先生は、「笑い」がまだまだ医学的に解明されていなかった時代に、「笑い」を医学療法の一つとして取り入れた方でもあります。伊丹先生は「笑い」が人体にとってどのような効果があるのかを調べるため、１９９２年にある実験をおこないました。その実験というのは、19人のボランティアを募り、吉本興業の「なんばグランド花月」で漫才・漫談・吉本新喜劇を3時間観て、思い切り笑ってもらい、その直前と直後で血液中のNK細胞の量を調べるというものでした。この実験の結果、19人中14人のNK細胞の値が増えました。つまり、笑うことでNK細胞の活性が上昇し、ガンに対する抵抗力が高まったのです。

難病を治癒させた「笑い作戦」

笑いに関する話をもう一つご紹介しましょう。今から50年ほど前、アメリカの有名なジャーナリストで、ノーマン・カズンズという人がいました。彼は、子どもの頃からずっと健康でしたが、１９６４年のある日、突然発熱すると、全身に痛みを覚え、倦怠感（体のだるさ）が急速に進行しました。そして、1週間のうちに、首、腕、指、足をほとんど動かせなくなったそうです。

カズンズ氏がかかっていたのは膠原（こうげん）病という病気でした。身体中に固い石のようなものができて、体も首も動かすことができなくなり、最後には死んでしまう病気です。原因は不明で、治癒の可能性は５００例に1例だといいます。ただ、彼は前向きでした。「病気を治すためには、病気に対して受け身にならず、前向きに何かをしたほうがよい」と考え、そこで注目したのが「笑い」でした。

彼は会社の同僚に頼んで、喜劇などのビデオや漫画などを病室に持ち込み、それを見て朝から晩まで笑っていたそうです。すると、**10分間腹の底から笑いころげると、少なくとも2時間は痛みなしに眠ることができました。**この笑い作戦によって、カズンズ氏の熱は下がり、脈拍は安定し、眠りも長くなっていったそうです。そして、2週間後には人の助けなしに立てるようになり、次の1週間後には歩くこともできるようになりました。そして、数カ月後には仕事に復帰したのです。

彼は１９７６年にその経過をアメリカの医学誌に投稿、１９７９年にはカリフォルニア医科大学の教授になり、笑いの効用を研究するチームをつくりました。これらのことは世界的な話題となり、それ以来「笑い」に関する研究がおこなわれるようになったそうです。

大声で笑えなくても笑顔だけで十分

いかがでしょうか。このように、私たちが心身ともに健康に生活していくためには「笑い」がとても重要です。「笑い」には、こころにたまった感情を吐き出すことによってスッキリするという「カタルシス効果※」があるほか、笑うことによって体の筋肉が緩み、それが同時にこころの緊張をほぐすというリラクゼーション効果もあるといわれています。また、笑うと呼吸が活発になり、肺の普段使わない部分まで空気を入れ換えることができ、老廃物を体の外に排出してくれます。

よく笑っている人が健康なのは**「健康だから笑っていられる」のではなく、「笑っているから健康」なのです。**みなさんもこれからは「笑い」を常にこころがけて、体の免疫力を高めるトレーニングを続けてみてください。

職場など、大声で笑えないときは「笑顔」だけでも十分です。笑顔で微笑むと、職場の雰囲気が和み、職場のストレスも少なくなりますよ。

※こころの浄化作用

監修：キティこうぞう

Profile／本名は鬼頭幸三。名古屋大学経済学部非常勤講師。日本メンタルヘルス協会公認心理カウンセラー。日本産業カウンセラー協会産業カウンセラー。㈱アドバンテッジリスクマネジメントのシニアコンサルタントとして、企業や労組を中心にストレスマネジメントやコミュニケーションの講演・研修をおこなうほか、労働組合の役員を10年以上務めた経験を活かし、社員のカウンセリングに関わるなど「職場のメンタルケアコーチ」として活躍中!ストレスマネジメントやコミュニケーションに関する講演・研修は年間200件を超える。

CND本部 役員紹介

第15期CND本部22名の専従役員と書記です。
全国の加盟組合のみなさんとともに頑張ります！

上段左から

企画総務局 松浦主査
北原書記
中野書記
菅原書記
広報局 松島局長（大阪T）
労働政策局 千葉部長（旭川T）
活動支援局 笹谷局長（札幌T）
企画総務局 宮口局長（福岡P）
経営政策局 山本局長（トヨタ自動車）
組織政治局 加藤局長（埼玉T）
労働政策局 藤田部長（福岡T）
経営政策局 江原部長（KTグループ）
経営政策局 城田部長（愛知K）
活動支援局 脇山部長（豊田自動織機）
企画総務局 田部井部長（千葉T）

下段左から

光田副事務局長（トヨタ自動車）
輪島副中央執行委員長（滋賀T）
菅野事務局長（横浜P）
小川中央執行委員長（愛知T）
石塚中央執行委員長代行（札幌P）
金持副中央執行委員長（TG秋田）
労働政策局 三井副事務局長（愛知T）

全国で活躍する本部役員です！

会計監査〈非専従〉

中村 通利（東京N）

平松 一成（名古屋C）

特別中央執行委員〈専従〉

森田 義之（東京N）

中央執行委員〈非専従〉

村田 崇（千葉T）

河合 智（東京T）

北出 陽（横浜P）

部会長

共販部会長
橘 由輝（愛知K）

エルアンドエフ部会長
望月 亮（近畿F）

レンタリース部会長
金井 基能（東京R）

副中央執行委員長〈非専従〉

1 北海道支部議長
畑山 忠生（札幌T）

2 北東北支部議長
主濱 健弘（岩手P）

3 南東北支部議長
長澤 裕之（宮城T）

4 北関東支部議長
鴫 敏樹（埼玉T）

5 南関東支部議長
大石 正己（KTグループ）

6 北陸支部議長
田畑 元宏（石川P）

7 東海支部議長
髙須 淳則（愛知T）

8 東近畿支部議長
朝田 泰年（大阪T）

9 西近畿支部議長
山本 喜之（大阪P）

10 中四国支部議長
島田 信亮（岡山N）

11 北九州支部議長
井手 拓也（福岡P）

12 南九州支部議長
知花 勝正（沖縄T）

CND機関紙 ホロン Vol.155
全トヨタ販売労働組合連合会 〒471-0832 愛知県豊田市丸山町10-5-1 ☎0565(28)5000 http://www.cnd.or.jp ■発行人 小川敦大 ■編集人 CND広報局 ■印刷 株式会社アイワット

第24回参議院議員選挙 浜口 誠（比例代表）初当選!!

ご支援ありがとうございます。

第24回参議院議員選挙では、CNDの皆さんをはじめ全国の仲間の皆さんから絶大なるご支援をいただき、266,623票の得票で初当選させていただくことができました。

初登院も済ませ、国会議員としての活動が始まったという実感と、働く仲間や自動車産業のために頑張っていかなければならないとの決意を新たにしました。

自動車産業の代表、働く仲間の代弁者として、初心を忘れず秋の臨時国会に全力で取り組んでいきます。

着ぼいす

毎回みなさんからいただいた声を紹介します!

労働安全キャンペーン展開中!

・転倒災害が多いと知り、身の周りの片づけを意識するようになりました。（静岡県）

海外スタディチーム報告

・特集の海外スタディチーム報告は日本だけではなく、世界の情報もわかるので興味があります。（岩手県）

・ドイツの歴史やトヨタ車に対する動向などがよくわかり良かったです。（千葉県）

政策・制度レポート

・なおしま正行さん、24年間ありがとうございました!長い間ご尽力いただき大変感謝しています。今後はゆっくりしていただき、浜口さんに期待したいと思います。（群馬県）

・なおしま正行さん、お疲れ様でした。私と同じ「正行」で親しみを感じていました。（大阪府）

ライフプランを考えよう!

・計算するのが怖いです。（宮城県）

・どういう人生設計をするべきか、そのために何ができるかを考えるきっかけになりました。（東京都）

・結婚して子供が成人するまでにどれくらいかかるのかなど知れて、自分のライフプランニングをしなければと思うきっかけになりました。（愛知県）

女性組合役員のW・L・U・B

・女性組合員の気持ちや組合のためにやっていることを知り、日本のあちこちで女性組合役員はがんばっていると実感しました。（北海道）

・同じ女性として、自分の仕事だけでなく組合のことまで取り組んでいて、また女性組合員のことをよく考えてくれていて素晴らしいと思いました。（千葉県）

HOLONクイズ Vol.155

今号のHOLONはいかがでしたか? さて、下記のクイズに挑戦してみましょう。記事の中にヒントが隠されているかも…。

1. 1.CNDは2018年には結成〇〇周年を迎えます!
2. 日本の労働環境については、少子高齢化の急激な進行により、〇〇〇〇〇が深刻化してきています。
3. ここ数年来、CNDは職場の声を聞くための活動のとして、「〇〇〇活動」に取り組んできました。
4. 人間は、〇〇〇の活性が弱いと病気になりやすいといわれています。

※解答される場合は ①こたえ、②こたえ…と入力してください。

全国35,000店舗の大手外食店を中心に利用ができる**全国共通お食事券ジェフグルメカード（2,000円分）**を、正解者の中から抽選で**20名**に進呈!

ご家族との団らんや職場の仲間とのコミュニケーションにも!

HOLONクイズ Vol.154

答え ①労働・通勤 ②HV ③24 ④可処分所得

おめでとうございます!

ホロンクイズ当選者のみなさん

札幌C／沼田和敏	福島K／石井義史	愛知T／小島菜央
札幌F／佐々木真澄	千葉T／井手口幸恵	愛知N／上野友理香
札幌R／小久保綾子	東京T／村上崇美	三重K／橋本晶子
岩手P／木村正明	東京R／鈴木順	浪速C／坂中由布子
東北K／三浦彩香	KTグループ／和田健志	島根TG／松川由紀子
東北K／藤村将成	石川N／池田晃平	島根TG／梶谷信平
福島T／金子勝	静岡T／遠藤幸雄	

今回は総数103件の応募をいただきました。
たくさんのご応募ありがとうございました!

【応募方法】記事の感想やご意見を添えてご応募ください。

労働組合結成の相談・情報のご提供は「ご意見・ご感想・ご質問」をクリック!

ホームページからご応募ください。 CND トヨタ 検索

1. http://www.cnd.or.jpにアクセス
2. トップページの「組合員専用ページ」をクリック!
3. パスワードを入力 パスワード **holon155**
4. 入力フォームに必要事項を入力し送信

【必要事項】
・クイズの答え ・氏名 ・年齢 ・性別 ・職種 ・郵便番号 ・住所 ・電話番号 ・組合名 ・会社名 ・拠点名 ・よかった記事の感想やご意見 ・CND HPの月の閲覧回数

締切 2016年10月15日　**発表** HOLON 156号

個人情報の取り扱いについて
CNDでは加盟組合のみなさんの個人情報を厳重に取り扱い、適正な個人情報の管理を実施し、ご提供いただいた個人情報は以下の目的で利用します。また、その取り扱いに関する契約を交わした業務委託先にその取り扱いを委託する場合があります。（詳細についてはCNDのホームページ〈http://www.cnd.or.jp〉のプライバシーポリシーをご確認ください）
1. 利用目的:HOLONへ読者の声として掲載・クイズ当選者への発送・お問合せ事項等に関するご連絡
2. 利用後の処分について:上記の利用目的に使用した後は速やかに適切な方法で処分します。